

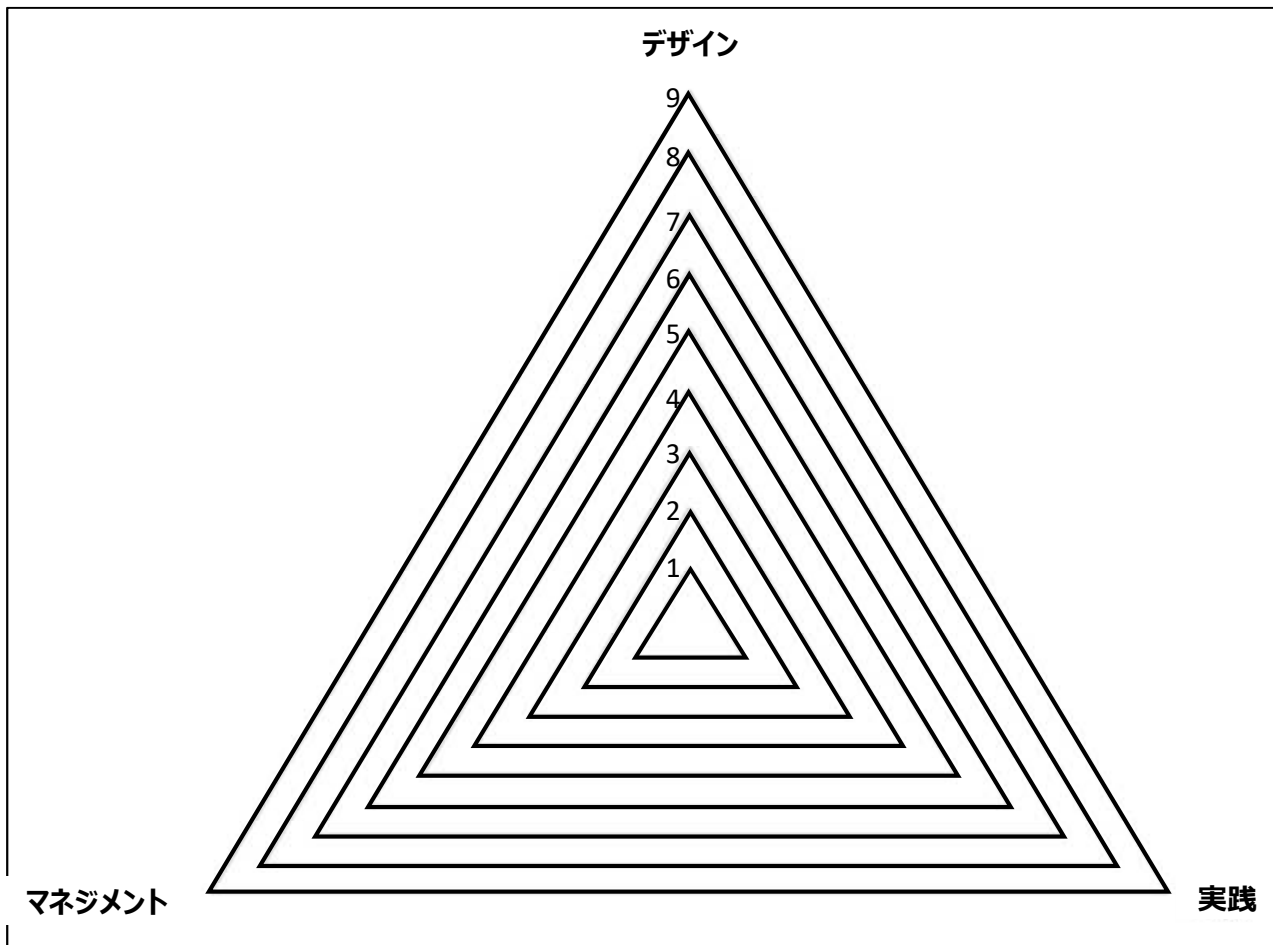
自校のスタートカリキュラムをみつめなおしてみよう

NO		関連P	内容	回答		
1	デザイン	2	学習指導要領におけるスタートカリキュラムの位置付けを理解している	はい	いいえ	
2		11	入学してくる子どもたちの幼児期の実態を把握している	はい	いいえ	
3		4	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を学校全体で共通理解している	はい	いいえ	
4		13	スタートカリキュラムの実施時期は			
			①入学後1週間 ②入学後2週間 ③入学後3週間 ④入学後1か月			
			⑤5月連休終了後まで ⑥入学～5月末 ⑦その他			
4		13	スタートカリキュラムで期待する児童の姿を明確にしている	はい	いいえ	
5		15	生活科を中心とした合科的・関連的な指導の工夫を行っている	はい	いいえ	
6		16	全ての単元を配列し俯瞰する単元配列表を作成している	はい	いいえ	
7		19	スタートカリキュラムの単元計画に基づいて週の計画を作成している	はい	いいえ	
8	19	弾力的な時間割の工夫をしている（短い時間、ゆったりとした時間）	はい	いいえ		
9	21	1日の学校生活を、児童中心にデザインしている	はい	いいえ		
10	実践	24	具体的な活動や体験を通して、生活上必要な習慣や技能が身に付くよう指導している	はい	いいえ	
11		34	子ども一人一人の経験の違いや園での活動の違いに留意して、体験活動を取り入れている	はい	いいえ	
12		34	友達と触れ合ったり関わり合ったりするゲーム等、幼児期に親しんだ活動を取り入れている	はい	いいえ	
13		35	教科学習の内容（単元）につながる幼児期の姿を意識して学習活動を展開している	はい	いいえ	
14		34	学習活動に際して、児童が主体的に自己を発揮できる場面を意図的につくっている	はい	いいえ	
15		50	子どもが安心感をもち、新しい人間関係を築くために、遊びや活動の特性を考慮している	はい	いいえ	
16		50	1時間の中での遊びや活動の構成を考えて実践している	はい	いいえ	
17		50	1週間の中での遊びや活動の連続性、発展性を考えて実践している	はい	いいえ	
18		55	園と小学校の環境の違いに配慮し、掲示物や人的な環境構成を工夫している	はい	いいえ	
19	マネジメント	60	スタートカリキュラムの意義や考え方、ねらいなどを全教職員で共通理解している	はい	いいえ	
20		60	スタートカリキュラムの意義やねらいを、保護者に説明している	はい	いいえ	
21		62	幼稚園等に訪問し、幼児や保育の様子を参観し、小学校での指導に生かしている	はい	いいえ	
22		62	幼稚園等の教職員と意見交換を行い、幼児の実態を把握しようとしている	はい	いいえ	
23		63	スタートカリキュラムを全教職員で協力体制を組み、実施している	はい	いいえ	
24		64	スタートカリキュラムの実施状況を全教職員で共有している	はい	いいえ	
25		66	幼稚園等の教職員や保護者に、スタートカリキュラムの様子を参観してもらっている	はい	いいえ	
26		66	毎週末や毎月の節目等に、スタートカリキュラムの反省、検証、改善を行っている	はい	いいえ	
27		67	週案等の資料をデータベース化し共有している	はい	いいえ	



※「発達や学びをつなぐスタートカリキュラム」

（平成30年3月 国立教育政策研究所）の関連ページを示しています。



- 1 「はい」の数を三角形の頂点に点で示す
- 2 点を直線につなぐ
- 3 線をつないでできた三角形の形から、自校のスタカリの課題を見出す
- 4 各校のスタカリの工夫や取組状況を共有する